



平成31年 須坂市消防出初式

さくら

さくら：消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

須坂市消防団広報紙

2019 4
(平成31年)

日頃は消防団、消防団活動にご理解ご協力頂きありがとうございます。いよいよ平成も終わりに新しい年号になるうとしています。現在、消防団としての悩みは、人員確保という問題です。このことは須坂市だけでなく長野県いや全国での問題となつていきます。消防団がもしなくなつたらどうなるでしょうか？須坂市で近年大災害はありませんが全国を見るとあらゆる所で災害が起きています。その時にまず初期活動に入るのが消防団です。常備消防、警察、自衛隊とありますが、全部すぐには対応できません。地域密着の消防団から出来ることです。消防団が無くなればこれらはできません。このことを中心に考えて頂きぜひ消防団に入団をして頂き、自分の町は自分で守るのだと思ふ大きな気持ちで私たちが共に活動しませんか。特に女性団員の募集には力を入れてますので、少しでも興味がある方は、是非お願ひしたいと思ひます。是非お願ひ時代と共に消防団も少しずつ



須坂市消防団長
たなか としかず
田中 敏勝

これからの消防団

昨年までは第五分団長として活動していました。併せて分団長会長も務めていたことが、須坂市消防団全体のこととなると、まだまだ知らないことも多くあります。様々な活動、行事を通して各分団や地域のことを学んでいきたいと思ひます。近年の少子高齢化の中、消防団員一人ひとりの負担が増えてきております。そういった中でも歴史ある須坂市消防団の伝統を守り、且つ団員が活動しやすい環境を整えていきたいと考えております。田中団長のもと、須坂市消防団がより良い発展が出来ますよう頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



須坂市消防副団長
せき のぶゆき
関 延之

就任あいさつ

つ変わりつつあります。その点を踏まえて、これからの消防団活動をやっていきたいと思ひますので、今後とも須坂市消防団を宜しくお願ひいたします。

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら『自分たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、『大切な家族や地域を守りたい』そんな思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団長

田中 敏勝

消防団員 家族の声

お父さんは消防団員

ぼくのお父さんは、消防団に入っています。だから、ぼくは町の防災訓練で消火器や放水訓練をやらせてもらった事が何度かあります。

初めてやった時は、水の力に負けて体がはね返されそうになったので、おどろきました。

消防団の活動の後に、団員の人たちが僕の好きな野球をいっしょにやってくれたこともあって、うれしかったです。

お父さんが、がんばってくれているので、ぼくもできることはきょうりよくしていきたいです。



上：板倉 悠歩くん
下：板倉 歩高くん

第7分団
板倉 哲也さんのご子息です

地域とのつながりを感じて

須坂市消防団の皆さま、日頃より地域のためにご活動いただきありがとうございます。ありがとうございます。

主人は第十一分団の消防団員として活動しており、私自身は昨年結婚し須坂市へ嫁いで参りました。

日曜も朝早くから練習に出かけていき、夏場の県大会の時期には、毎日まだ薄暗いうちからラッパの訓練へ参加しそのまま会社へ出勤するという真剣な姿を目のあたりにした際には身内ながら頭が下がりました。

仕事との両立で大変なこともあるかと思いますが、熱心に打ち込んでいる姿からはそれ以上に職場とはまた違った仲間との強い繋がりや達成感など、得るものも大きいのだろうと感じますので、家族として微力ながら応援していけたらと思います。これからも、団員の皆さまそれぞれ身体に気を付けて安全に活動していただけるよう願っております。



山岸 尚美さん

第11分団
山岸 弘和さんの奥様です

消防団活動を通して

私もそうですが、消防団員は仕事や家庭を持ちながら消防団活動をしており、早朝訓練や夜間の警戒などとても大変なものがあります。

それでも、消防団活動を通じていろいろな人達と出会い、共に訓練や大会を乗り越えることで、自身も成長し、いい仲間を作ることができました。

私の職業は左官業で、建築現場などでは他の分団の方たちと同じ現場となることもあり、消防団に入っていることで、仕事上でもたくさん繋がりを持つことができました。

今は、家庭や職場で理解いただき消防団活動が続けることができています。私は、これからも周りの人々に感謝しつつ消防団活動を頑張りたいと思います。



第3分団 喇叭長
岩船 純平



消防団員の声

日々消防団活動に励む消防団員の声を紹介します。

消防団に入る前は



第10分団 2部
竹前 上総

私は消防団に入る前に、消防団の方々がどんな活動をしているのか全く知りませんでした。

実際に消防団に入り、災害対応だけでなく防災訓練、どんど焼き、行方不明者捜索と様々な所で活動してみても、地域にとつて消防団はとても大事な存在だと知らされました。

早朝訓練も朝早く大変ですが、皆が一つの目標に向かい訓練する事で、絆を深めることができるとも貴重な経験となっています。

また団員の職業も多種多様で日頃の仕事では顔を合わせる事のない人からちよつとして休憩時間、親睦会時にもいろいろな話を聞けるのも消防団の楽しみとなつています。

それぞれが多様な職業の為に制限がある中で力を合わせ日々の活動をする事で、お互いに理解しあう活動することができています。

今後も地域防災の為に日々仲間感謝し、楽しく、時に厳しく消防団活動に邁進していきたいと思えます。



▲秋季ラッパパレード
(11月4日)



▲秋季火災防ぎょ訓練 10分団管内
(11月10日)



▲定期演奏会
(11月11日)



▲歳末夜警
(12月26日～30日)



写真で見る消防団活動



▲消防団安全管理セミナー
(2月24日)

平成30年10月
～
平成31年3月



▲幹部研修会
(2月15日)



▲春季火災防ぎょ訓練 第11分団管内
(3月2日)

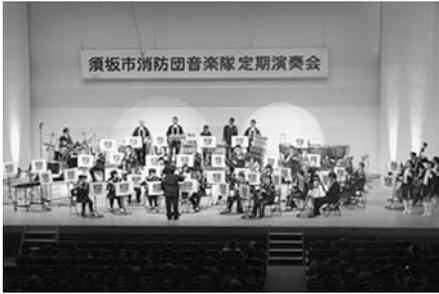


▲普通救命講習
(3月10日)



▲規律担当者訓練
(3月14日)

定期演奏会 御礼



チャリティーコンサートとして昨年11月に開催した音楽隊の定期演奏会にはたくさんの皆さまにお越しいただきました。

おかげさまで188,614円のご芳志をいただき須坂市社会福祉協議会へプロジェクター一式の購入費用として贈呈させていただきました。

今年は35回目の記念の演奏会です。みなさまに楽しんでいただけるよう毎週の訓練に励んでいきます。是非ご期待下さい。



須坂市消防団音楽隊長
徳武 洋子



須坂市 火災発生状況

(平成30年度 平成30年 4月1日～平成31年 3月31日現在)

火災発生状況 14件 (建物5、車両1、その他8)

2019年度全国統一防火標語

『ひとつずつ いいね!で確認 火の用心』

本年の分団長会です! よろしくお願ひします



消防団員 随時募集中!

地域の安心と安全を守るために、
あなたにもできることがあります。

☆学生消防団活動認証制度をご存知ですか?

消防団活動に取り組んだ大学生・大学院生・専門学生(以下「大学生等」という。)について、地域社会への貢献を市が認証することにより、就職活動の支援を行うもので、企業の採用担当者等へ提出し、消防団員として社会貢献してきた実績を評価してもらえるよう、アピールすることができます。

私たちと一緒に地域を守る活動をしてみませんか!

須坂市消防団では男性、女性問わず随時団員の募集しております。お気軽にお問い合わせください!

お問い合わせ

須坂市消防本部総務課 (☎026-245-4100)

e-mail:s-soumu@city.suzaka.nagano.jp

編集委員長

分団長会長

村石 時康

編集後記

消防団を取り巻く環境、求められる姿は時代の流れと共に大変なスピードで変化しています。そんな中でも昔から不変なのは、消防団として地域の為何が出来るか、という使命感です。この広報誌さくらが、消防団に対する地域の皆様のご理解を深める一助となれば幸いです。

【編集委員】

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|
| 第11分団長 | 第10分団長 | 第9分団長 | 第8分団長 | 第7分団長 | 第6分団長 | 第5分団長 | 第4分団長 | 第3分団長 | 第2分団長 | 第1分団長 | 音楽隊長 | ラッパ長 | 副団長 | 副団長 | |
| 小松大介 | 松本昌男 | 大塚正臣 | 村石康 | 富澤大輔 | 黒岩敦人 | 丸山悠希 | 丸山悠希 | 荒井悠希 | 小泉優樹 | 垂澤智士 | 勝野洋子 | 徳武直樹 | 湯本直樹 | 関村延彦 | 中村公彦 |